公益財団法人　群馬健康医学振興会　平成 28 年度事業報告書

（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

Ⅰ．公益目的事業

1．「公１」県民の健康づくりのための研究助成・書籍発行・講師派遣事業

（１）県民の健康づくりのための研究助成事業

１）医学研究、調査及び教育に対する助成

群馬県内又は近郊、その他の地域に勤務する医師、薬剤師、看護師、臨床検査技師、療法士、保健師、社会福祉士、その他の保健・医療及び福祉関連職、教員、団体等不特定多数の医療従事者を対象に、年度内に行う研究又は事業で、当振興会の趣旨に沿った活動を募集のうえ、選考を行い、平成 28 年度は下記の 7 件に研究助成金を交付した。

番号	交付者	所　　属	研究又は事業のテーマ	助成額(千円)
1	浅尾　高行	ＮＰＯ法人　群馬がんアカデミー	医師補助業務トレーニング法の確立と実践	300
2	安部由美子	群馬大学大学院保健学研究科　生体情報検査科学講座	絨毛膜羊膜炎に関する共同研究	300
3	大竹　弘哲	前橋赤十字病院　リハビリテーション科	群馬県内における身体障害や高次脳機能障害例に対する自動車運転再開支援システムの確立	300
4	清水　岳久	館林厚生病院　内科・循環器科	熱中症に関する観察研究	300
5	高澤　知規	群馬大学医学部附属病院麻酔科蘇生科	群馬大学医学部附属病院及び近隣病院における周術期のアナフィラキシー発生に関する後ろ向きコホート研究	300
6	堀口　昇男	群馬大学医学部附属病院肝疾患センター	出張型肝臓病教室、患者サロンの取り組み　―医師、看護師、管理栄養士、薬剤師が連携した教室の開催―	300
7	渡辺　　亮	群馬大学大学院　肝胆膵外科学（病態総合外科学)	膵管内乳頭状粘液性腫瘍（IPMN）の癌化マーカーの開発	300
合　　計				2,100

２）第 117 回日本外科学会定期学術集会に対する助成

日本外科学会は、国民の健康増進確立と疾病治療のために活動する学術団体である。本学会の目的と活動は、外科学を通じて本邦のみならず世界のあらゆる分野の医学の研究活動、医療の進歩に貢献するものである。この度、国立大学法人群馬大学医学系研究科病態総合外科学分野が、平成 29 年 4 月 27 日（木）～29 日（土）開催される第 117 回日本外科学会定期学術集会を主幹することとなり、県内においても市民公開講座が開催されることとなった。

本学術集会を支援することによって、地域住民の健康増進、地域医療の振興に貢献することが期待できるため、平成 27 年度に引き続き下記のとおり募金を行い、研究助成金として奨学・研究責任者　群馬大学大学院病態総合外科学　桑野博行教授に交付した。

年　　度	摘要	件　数	金　　額	備　考
平成 27 年度	個人	49 件	14,250,000 円	
	法人	13 件	7,300,000 円	
	計	62 件	21,550,000 円	
平成 28 年度	個人	67 件	13,965,000 円	
	法人	19 件	11,800,000 円	
	計	86 件	25,765,000 円	
合　計	個人	116 件	28,215,000 円	
	法人	32 件	19,100,000 円	
	計	148 件	47,315,000 円	

（２）書籍発行事業

概ね 5 年毎の研究助成、講師派遣事業の成果、及びその間に法人が収集した最新の医学の進歩について、広く県民、地域住民に知らしめるための書籍を発刊し、地域の医師会、病院、学校施設、行政などに寄贈すると共に一般の書店、病院で販売する。

平成元年 4 月に創刊後、これまでに 5 冊を発刊した。平成 26 年 2 月に開催した担当理事等による打合わせの結果、平成 28 年度に次刊（第 6 刊）を発刊することを確認した。

平成 27 年度においては、内容の詳細について検討し、同年度中に出版要旨を纏めることとした。

その後、書籍名を「“肥満と疾患：どこまで解明されたか？”」と定め、纏め役の群馬大学大学院医学系研究科　病態制御内科学　山田正信教授のプランニングの下、下記のタイトルで各々著者に原稿依頼した。

当初、平成 28 年度の発刊を予定したが、原稿の校正等に時間を要し、平成 29 年 7 月末の発刊に予定を変更した。

目次	タイトル（仮題）	著者（敬称・所属略）
発刊に寄せて		森川昭廣
はじめに		山田正信
第１章	肥満とは	
1	肥満者は増加しているか？	森　昌朋
2	肥満とは？　ＢＭＩとは？	大島喜八
3	肥満と肥満症の違い	岡田秀一
4	脂肪細胞と肥満	佐藤哲郎、吉野　聡
5	内臓脂肪と皮下脂肪の違い	麻生好正
6	末梢中枢連携と恒常性ＶＳ報酬性摂食	矢田俊彦
7	エネルギー代謝と肥満	北村忠弘
第２章	肥満と疾患	
8	肥満とメタボリック症候群	中島康代
9	肥満と糖尿病	伴野祥一
10	肥満症と脂質異常症	犬飼敏彦
11	肥満と高血圧	倉林正彦
12	肥満と高尿酸血症	大山善昭、中村哲也
13	肥満と脂肪肝	柿崎　暁
14	肥満と睡眠時無呼吸症候群や呼吸障害	鶴巻寛朗、久田剛志
15	肥満と脳血管障害	朝倉　健
16	肥満と心疾患	安達　仁
17	肥満と整形外科的疾患、骨粗鬆症	高岸憲二、内田　訓、下山大輔、大島淳史
18	肥満と消化器癌	星　恒輝、草野元康
19	肥満と月経異常	岸　裕司
20	肥満と認知症	池田佳生
21	肥満と慢性腎臓病（ＣＫＤ）	坂入　徹、廣村桂樹
22	肥満とサルコペニア	田澤昌之
23	小児の肥満	大津義晃、荒川浩一
第３章	肥満症の治療	
24	肥満の食事療法	齊賀桐子
25	肥満の運動療法	齋藤従道
26	肥満症の行動療法	松本俊一、山田正信
27	肥満の薬物治療	山田英二郎
28	肥満・糖尿病に対する外科治療	笠間和典、関　洋介
第４章	肥満研究最前線	
29	肥満は遺伝か？	橋本貢士
30	肥満の原因遺伝子はどこまでわかったか？	土屋天文
31	肥満と報酬系	下村健寿
32	脂肪細胞の最前線	登丸琢也
33	摂食調節メカニズム研究の最前線	佐々木　努

（３）地域医療の振興、地域住民の医学知識向上のための講師派遣事業

地域において健康づくりを目的とした講演を主催する公共の施設又は福祉を目的とする団体からの講師派遣の要請に応え、下記のとおり講師を派遣した。

1	派遣講師名	群馬大学医学部附属病院　感染制御部長 准教授　徳江　豊
	派遣日	平成 28 年 9 月 1 日　19 時 00 分～21 時 00 分
	派遣先	群馬県保険医協会　会長　木村　康
	会　場	群馬県生涯学習センター
	講演名	医療安全の確保を目的とした講習会（感染症対策）
	対象者	医師、歯科医師
	聴講者	72 名
2	派遣講師名	群馬大学医学部附属病院　医療の質・安全管理部長 准教授　永井　弥生
	派遣日	平成 28 年 9 月 1 日　19 時 00 分～21 時 00 分
	派遣先	群馬県保険医協会　会長　木村　康
	会　場	群馬県生涯学習センター
	講演名	医療安全の確保を目的とした講習会 （医療安全全般）
	対象者	医師、歯科医師
	聴講者	72 名
3	派遣講師名	一般財団法人　同愛会 理事　薬局長　大谷　晴美
	派遣日	平成 28 年 9 月 27 日　10 時 00 分～11 時 40 分
	派遣先	前橋市若宮地区老人クラブ連合会 会長 松村 尚志
	会　場	前橋市若宮町三丁目公民館
	講演名	高齢者と薬
	対象者	会員
	聴講者	59 名
4	派遣講師名	群馬大学医学系研究科　器官機能制御学講座 臓器病態内科学　教授　倉林　正彦
	派遣日	平成 28 年 10 月 18 日　10 時 00 分～11 時 30 分
	派遣先	明寿大学同窓会　会長　若旅　繁雄
	会　場	前橋中央公民館
	講演名	心不全（規則正しい生活を）
	対象者	会員
	聴講者	380 名

Ⅱ．収益目的事業

１．「収１」医師賠償責任保険の委託契約集金事務

株式会社　北栄を取扱代理店とする医師賠償責任保険の委託契約集金事務の実績は、下記のとおりであった。

摘　　要	加入者数	事務費	備　考
団体医師賠償責任保険 （内、交通傷害特約付き）	2,153 名 （1,192 名）	5,487,024 円	

（備考）

事務費は、「団体医師賠償責任保険」掛金の 5%、「交通傷害特約」掛金の３％であるが、脱退者等があった場合は清算となる。

Ⅲ．管理事業

１．賛助会員

賛助会員の募集を行い、次のとおり賛同者を得た。

区　分	員　数	口　数	会　費	備　考
個人会員	32 名	51	255,000 円	
法人会員	42 件	42	2,100,000 円	
計	——	——	2,355,000 円	

２．理事会、評議員会の開催

（１）理事会の開催

定時（第 11 回）理事会開催　平成 28 年 6 月 7 日（火）
定時（第 12 回）理事会開催　平成 28 年 6 月 29 日（水）
定時（第 13 回）理事会開催　平成 28 年 10 月 11 日（火）
定時（第 14 回）理事会開催　平成 29 年 3 月 16 日（木）

（２）評議員会の開催

定時（第 8 回）評議員会開催　平成 28 年 6 月 29 日（水）
臨時（第 9 回）評議員会開催　平成 28 年 10 月 11 日（火）